

## 公益社団法人 佐賀県理学療法士会 平成30年度事業報告

### 【平成30年度事業総括】

平成30年度は、4月に行われた診療報酬・介護報酬の同時改定に始まりました。地域医療構想および地域包括ケアシステムの構築を後押しする改定となり、各市町での介護予防事業や地域ケア会議の開催など自立支援型マネジメントの推進、多職種の連携に向けた取り組みが加速的に進んでいくなか、本会としても各地区担当理事制による支援体制を整備し、市町のニーズに迅速に対応できる体制を整備し、派遣要請等に対応して参りました。これらを含め、以下を重点課題とし、会員諸氏の協力の下、事業を進めて参りました。

#### ○各地区、市町での理学療法士の地域活動参画推進

- ・地域包括ケア推進リーダー、介護予防推進リーダー制度を活用した人材育成
- ・一般県民向け事業の推進：介護予防・健康増進キャンペーンの各地区開催、地区イベントでの健康寿命延伸に向けた意識高揚を目指した取り組み
- ・高齢者の健康安全運転講座への参画：産官学民の連携

#### ○協会指定管理者研修会の開催と職域別・地区別ネットワークの構築

- ・管理者研修会の開催
- ・職域別管理者研修会の開催：急性期・回復期・地域包括ケア・生活期、ワークショップ

#### ○スポーツ・障がい者スポーツ領域への参画

- ・さが桜マラソン2019サポート
- ・「孔子の里」トレイルランinたく大会サポート
- ・障害者スポーツ研修会：人材育成事業

#### ○佐賀県リハビリテーション3団体協議会など多職種協働による事業展開

- ・訪問リハビリテーション研修会
- ・「佐賀県介護予防普及推進事業」：①介護予防・地域ケア会議推進リーダー育成研修会事業、②市町担当者向け会議、③アドバイザー派遣事業、④国主催のアドバイザー研修受講への派遣事業
- ・リハビリテーション介護技術研修事業：テキスト発刊事業（『介護職のための生活支援マニュアル～リハ専門職種からの提案～第2巻 食事とコミュニケーション』）、研修事業

#### ○学術活動の推進

- ・新人教育プログラム
- ・各専門領域研修会
- ・各地区症例検討会
- ・第27回佐賀県理学療法士会学会：演題数の増加、県民公開講座（住民参加型）

#### ○事務局機能の強化

- ・事務職員の雇用
- ・「西村会計 白石事務所」との委嘱契約書締結（平成30年5月31日付）

その他、本会定款に掲げる、理学療法士の職業倫理の高揚を図るとともに、理学療法の学術及び技能の向上を推進し、もって県民の医療・保健・福祉の増進に寄与することを目的とし、以下の事業を展開して参りました。

- (1) 理学療法を通じて、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するための事業
- (2) 理学療法士の職業倫理の高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業
- (3) 理学療法士の教育機関に協力し、理学療法の資質向上に寄与する事業
- (4) 理学療法に関する会誌その他の刊行物の発行及び調査研究に寄与する事業
- (5) 内外の関連団体との連絡及び協力に関する事業
- (6) 理学療法士の社会的地位の向上及び相互福祉に関する事業
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 【公益事業の部】

#### 《公益事業 1.》

理学療法士の職業倫理の高揚を図るとともに、理学療法の学術及び技能の向上を推進し、もって県民の医療・保健・福祉の増進に寄与する事業

#### <事業実施の要旨>

理学療法は、理学療法士及び作業療法士法第2条によって「身体に障害のある者に対し、主としてその基本的動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動を行わせ、及び電気刺激、マッサージ、温熱その他の物理的手段を加えることをいう」と定義され、理学療法士は、同法第2条第3項によって「厚生労働大臣の免許を受けて、理学療法士の名称を用いて、医師の指示の下に、理学療法を行うことを業とする者をいう」と定義されている。理学療法士は、医学的リハビリテーションを

担う中核的職種として、高齢化社会の進む本県において社会的役割が増大していることから、県民に対する直接的な理学療法の実施と、理学療法士の資質向上によって、県民の医療、保健及び福祉を増進させることを目的として事業を行うものである。

#### <事業の構成>

当該事業は、次の5つの事業で構成される

#### 1. 理学療法を通じて、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するための事業

- (1) スポーツサポート事業
- (2) 医療・介護保険制度の正しい理解・普及事業
- (3) 理学療法の普及事業

#### 2. 理学療法士の職業倫理高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業

- (1) 理学療法士の学術技能向上事業
- (2) 学会事業
- (3) 学術・研究普及事業

#### 3. 理学療法士の教育機関に協力し、理学療法士の資質の向上に寄与する事業

#### 4. 関連団体との連携および協力に関する事業

#### 5. 体験活動等による理学療法の知識の普及・啓発事業

#### <個別事業の内容>

#### 1. 理学療法を通じて、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するための事業

##### 【趣旨・目的】

本事業は、スポーツ活動における医学的サポートを通じて、子どもから高齢者まであらゆる人が、生涯にわたって健康で豊かな生活を送ることができるようサポートすることを目的とする。参加選手が安全に競技に取り組めることができるように、競技種目特性に応じた効果的で医学的サポートを行なうことができる理学療法士が、実際の競技大会等においてサポートすることにより、参加選手が安全に競技等に取り組むことができ、傷害予防や健康増進に寄与することができる。

##### 【事業内容】

県内で行われるスポーツ大会やレクリエーション活動に参加する選手に対して、希望者に理学療法士としての専門的な知識や技術を基に、スポーツマッサージ、ストレッチ指導、アイシング、テーピング、相談事業等を行う。また、対象となる選手に質の高いサービスを提供できるように、事前に研修及び実技講習を行う。

- (1) スポーツサポート事業

##### 【事業例】

#### ●一般スポーツサポート事業

(事業内容)

大会等の運営主催者からの要請を受け、スポーツサポート事業を行う。具体的な内容として、希望する選手に対しスポーツマッサージ、ストレッチ指導、アイシング、テーピング、相談事業を行うことにより、参加選手が安心して競技に臨めるようサポートをすることであり、参加選手の傷害予防や健康増進に寄与することができた。

(対象者)

・参加選手

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

#### ○さが桜マラソンサポート事業

・事前研修 スタッフ実技講習会…2回、スタッフ勉強会…1回(全3回)

・大会当日の競技サポート(スポーツマッサージ、ストレッチ指導、アイシング、テーピング、相談等)

#### 「さが桜マラソン2019サポート準備事業(全3回)」

第1回

日 時:平成31年1月22日(火) 20:00~21:30

場 所:鶴田整形外科リハビリテーション室

内 容:スポーツマッサージの実技講習により、サポートを行う会員の技術力向上を図った。

参加者数:会員 65 名

第2回

日 時:平成31年2月19日(火) 20:00~21:30

場 所:鶴田整形外科リハビリテーション室

内 容:スポーツマッサージの実技講習により、サポートを行う会員の技術力向上を図った。

参加者数:会員61名

第3回

日 時:平成31年3月19日(火) 20:00～21:30

場 所:鶴田整形外科 リハビリテーション室

内 容:講義形式の勉強会、大会当日の打ち合わせを行った

参加者数:会員67名

#### 「さが桜マラソン2019サポート」

開催日:平成31年3月24日(日) 6:30～16:30

場 所:佐賀県総合運動場およびコース救護所

対 象:参加ランナー

内 容:マラソン参加者に対し、スポーツマッサージ、ストレッチ、テーピング、アイシング指導

サポート対象者:421名(延べ人数)

参加者数:会員74名

#### ○第3回「孔子の里」トレイルランinたく大会サポート事業

開催日:平成30年11月25日(日)

場 所:多久聖廟～鬼の鼻山～聖岳

サポート対象:参加選手65名

内 容:大会参加者に対しスポーツマッサージ、ストレッチ、アイシングを実施した

参加者数:会員12名

#### ●障がいスポーツサポート事業

(事業内容)

障がい者が自主的かつ積極的にスポーツ活動ができるための体制づくりを支援することを目的に、障がい者スポーツに関わる理学療法士の人材育成ならびにネットワークの構築を図った。具体的には、佐賀県障がい者スポーツ協会や佐賀県スポーツ課と連携・協力体制を構築し、障がい者スポーツへの派遣事業ならびに地域や種目別の特性やニーズに応じた人材育成のための研修会の開催を行った。選手の競技力向上および傷害予防、健康増進はもとより、スポーツを通じて障がい者の社会参加の促進に寄与することができた。

(対象者)

・障がい者スポーツ参加選手

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

#### ○佐賀県障害者スポーツ大会・障害者スポーツ教室へのスタッフ派遣

スポーツ大会等の派遣について関係団体との調整を行い、新たなイベントへの介入を検討した。

#### ○障がい者スポーツ研修会

日 時:平成31年1月6日(日)9:30～12:40

場 所:鶴田整形外科リハビリテーション室

内 容:「障がい者スポーツに対しての理学療法士の果たせる役割」

講 師:鳥居 昭久 氏(愛知医療学院短期大学)

参加者数:31名(会員26名、他職種5名)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他職種:500円、学生:無料

## (2)医療・介護保険制度の正しい理解・普及事業

【趣旨・目的】

本事業は、医療保険制度、介護保険制度に関する情報を収集し、県下会員ならびに関係職種に向け周知させ、その内容を利用者ならびに県民へ向け伝達し、正しく運用することとその制度改正の理解を促進する事業である。医療保険制度、介護保険制度といった社会保障制度は、県民医療・保健・福祉の構造的かつ機能的根幹をなし、県民生活に直接影響を与える。そのため、制度改正の把握、理解が必要であるが、各個人が情報を収集し、制度改正の内容を正しく理解していくことは限界があることから、組織的な対応が効果的である。当該事業による情報提供、正しい理解の促進は理学療法士をはじめとする医療関係者の援助となり、ひいては県民の利益に寄与できる。

【事業内容】

制度改正等に関するリハビリテーション関連職種からの問い合わせに対し、九州厚生局佐賀事務所とのやり取りを適宜行い、その内容を周知することにより、各施設で利用者ならびに県民向けに伝達していく。また会員が勤務する病院、施設の各種監査の情報に関して、それを収集し情報発信することにより、医療・介護保険制度の正しい理解と普及の促進してい

く。

【事業例】

●診療報酬・介護報酬等相談対応事業

(事業内容)

本会ホームページの「お問い合わせフォーム」等より、リハビリテーション施設基準や診療報酬・介護報酬等に関する相談を受け付けた。問い合わせ内容については本会の職能局で管理し、関係部署と協働して返答対応した。

(対象者)

・リハビリテーション関連職種(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など)

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

会員からのリハビリテーションに関する診療報酬関連 10 件(目標設定管理料、リハ実施計画書、リハ総合実施計画書、維持期リハの終了等)、介護保険関連 1 件(訪問リハビリ)の問い合わせがあり対応した。

(3)理学療法の普及事業

【趣旨・目的】

本事業は、広報誌の発行や一般県民向けのセミナー等を通じて、県民の生活や健康に役立つ情報を発信することにより、県民の健康維持・増進ならびに疾病予防に寄与することを目的として実施する。この理学療法に関する普及啓発活動により、理学療法業務の理解を深め、理学療法士に対する社会的認識を高めてもらうようアピールしていく。

【事業内容】

広報誌の配布や、健康維持・増進や疾病予防目的にセミナー等を開催することを通じて、理学療法の専門的知識及び技術を、広く県民に普及・啓発していく。

【事業例】

●広報誌「ねっつ」発行事業

(事業内容)

掲載内容は、地域住民の健康維持・増進ならびに疾病予防に寄与できるような誌面構成とし、「ねっつエクササイズ」と称したテーマ別の運動の紹介や、リハビリ体験記なども掲載した。市町の保健・福祉関連施設など、地域住民が直接目に触れる機会が多い場所へ配布し、本会のホームページ上でも公開した。

(対象者)

・一般地域住民

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

・広報誌ねっつvol.3を2019年3月に合計4,750部発行した。

2. 理学療法士の職業倫理高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業

(1)理学療法士の学術技能向上事業

【趣旨・目的】

本事業は、理学療法に関する新しい知見、技術の研究開発や理学療法士の専門性を高めるキャリアアップ支援を通して、理学療法の継続的な品質向上に努め、誰もがより適切な理学療法ならびにリハビリテーションを享受できるために取り組む事業である。医学は日進月歩であり、理学療法士は、医療法第1条の2ならびに4に定められているとおり、医療を受ける者に対し、良質かつ適切な医療を行うよう努めなければならない。そのため、理学療法士が専門職として県民の負託に応えるためには常に最新の医療技術の修得に努める義務があるが、医療技術の進歩を理学療法士個人の努力で網羅するには限界がある。そこで本会は本事業を通して、理学療法学の振興と理学療法士が良質かつ適切な医療を提供できるよう研修会を開催し、理学療法士が常に最新でより専門的な治療技術および知識の習得ができるよう支援する。

【事業内容】

研修会を、新人向けや疾患別・専門領域別に企画し、開催・運営する。我々リハビリテーション専門職は、所属する施設により担当する疾病や、障がい像は多種多様である。さまざまな人格、社会的背景を持った対象者と直接触れ合う専門職として、高度な知識と技術、さらには、豊かな人格をそなえる必要がある。適切なサービスと患者権利擁護の背景から、患者や利用者を中心として多職種がチームを形成し、対象者にとって有益な医療や介護が提供されねばならず、他職種を含めより多くの参加の機会を確保することで、学際的隣接領域の相互理解と医療・介護連携を効率的・効果的に図ることが可能と

なる。

【事業例】

●**新人教育プログラム事業**

(事業内容)

国家試験に合格した3年以内の新人理学療法士が主な対象者である。キャリアアップ事業に位置付け、基本的な知識習得を基礎に、理学療法士の質を向上させ利用者にとって有益な理学療法のあり方を学ぶことにより、県民の保健医療、福祉の向上に寄与することを目的とした。開催するプログラムは、公益社団法人日本理学療法士協会が定めた全国統一のテーマで行った。

(対象者)

・卒業後3年以内の理学療法士が主な対象で、本会会員および他県理学療法士も含む。

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費および受講費収入

(事業報告)

○1回目 日時;平成30年4月16日(月)19:30~21:00

場 所:西九州大学

内 容:「入会案内と手続きについて」講師 吉竹 陽介(佐賀リハビリテーション病院)

「協会組織と生涯学習システム(A-2)」講師 片渕 宏輔 会長(佐賀県医療センター好生館)

参加者数:会員68名

受講料:佐賀県理学療法士会に入会希望の者:無料、会員:無料

○2回目 日時;平成30年7月8日(日)9:30~16:15

場 所:西九州大学

内 容:日本理学療法協会の新人教育プログラム(計9科目)

A-1:理学療法と倫理 講師:八谷 瑞紀 氏(西九州大学)

A-3:リスクマネジメント 講師:吉竹 陽介 氏(佐賀リハビリテーション病院)

A-4:人間関係及び接遇(労働衛生含む) 講師:小栗 隆太 氏(山口病院)

A-5:理学療法における関連法(労働法含む) 講師:峰松 一茂 氏(有島病院)

B-2:クリニカルリーズニング 講師:辻 晃剛 氏(さかえまち整形外科)

D-2:生涯学習と理学療法の専門領域 講師:大串 卓也 氏(有島病院)

B-1:一次救命処置と基本処置 講師:村中 進 氏(鶴田運動機能回復クリニック)

D-3:理学療法の研究方法論 講師:松本 典久 氏(武雄看護リハビリテーション学校)

E-2:コーチングとティーチング 講師:井原 雄彦 氏(ひらまつ病院)

C-4:高齢者の理学療法 講師:山田 道廣 氏(元佐賀県理学療法士会 会長)

参加者数:174名(会員162名、他県会員12名)

受講料:会員:無料、他県会員:500円、非会員:10,000円、他職種:500円

○3回目 日時;平成31年1月13日(日)9:30~16:15

場 所:武雄看護リハビリテーション学校

内 容:日本理学療法協会の新人教育プログラム(計10科目)

A-1:理学療法と倫理 講師:八谷 瑞紀 氏(西九州大学)

B-1:一次救命処置と基本処置 講師:村中 進 氏(鶴田運動機能回復クリニック)

A-2:協会組織と生涯学習システム 講師:大串 卓也 氏(有島病院)

B-3:統計方法論 講師:光武 翼 氏(白石共立病院)

A-3:リスクマネジメント(安全管理と予防含む) 講師:吉竹 陽介 氏(佐賀リハビリテーション病院)

C-2:地域におけるスポーツ理学療法 講師:北島 貴大 氏(ひらまつ病院)

A-4:人間関係及び接遇(労働衛生含む) 講師:小栗 隆太 氏(山口病院)

D-1:社会の中の理学療法 講師:峰松 一茂 氏(有島病院)

A-5:理学療法における関連法 講師:竹井 和人 氏(医療福祉専門学校緑生館)

E-1:臨床実習指導方法論 講師:井原 雄彦 氏(ひらまつ病院)

参加者数:117名(会員113名、他県会員4名)

受講料:会員:無料、他県会員:500円、非会員:10,000円、他職種:500円

●**専門領域研修事業**

(事業内容)

より専門的な知識・技能の習得にむけた方策支援を目的として、骨・関節系、神経系、内部障害系、地域リハビリテーション系、小児系など、各専門領域別による研修会や技能講習を実施した。

(対象者)

・リハビリテーション関連職種(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など)

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費および受講費収入

(事業報告)

#### ○管理者研修会

日 時:平成30年11月24日(土)

場 所:アバンセ 4階 第3会議室A

内 容:「2025年に向けての理学療法士の役割～部門管理の重要性～」講師:安倍 浩之 氏(リリ・フィジオグループ)  
「メディゲイトの管理運営・フットケア・インソールの取り組み」講師:近藤 浩司 氏(リリ・フィジオグループ)

参加者数:24名(会員23名、他県会員1名)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:500円、他職種:500円、学生:無料

#### ○スポーツ理学療法研修会

日 時:平成31年2月10日(日)10:00～13:15

場 所:西九州大学

内 容:「スポーツ選手を診るうえで大切にしている心構え」  
「膝靭帯損傷選手の術前・術後リハビリテーションの臨床技術」

講 師:今屋 健 氏(関東労災病院)

参加者数:82名(会員66名、他県会員16名)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:500円、他職種:500円、学生:無料

#### ○運動器理学療法研修会

日 時:平成30年9月30日(日)9:00～16:30

場 所:西九州大学

内 容:「骨盤・股関節機能障害に対する徒手理学療法の理論と実際」

講 師:赤坂 清和 氏(埼玉医科大学)

参加者数:61名(会員58名、他県会員2名、他職種1名)

受講料:会員:無料、非会員:20,000円、他県会員:1,000円、他職種:1,000円、学生:無料

#### ○呼吸理学療法研修会

日 時:平成30年7月29日(日) 9:00～12:00

場 所:医療福祉専門学校緑生館

内 容:「急性期の呼吸器疾患におけるリスク管理と理学療法の進め方」～モニタリングのない状況下をふまえて～

講 師:笹沼 直樹 氏(兵庫医科大学病院 理学療法士)

参加者数:77名(会員53名、他県会員20名、他職種4名)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:500円、他職種:500円、学生:無料

#### ○小児理学療法研修会

日 時:平成30年7月14日(土)14:30～18:00

場 所:佐賀整肢学園からつ医療福祉センター

内 容:「脳の発達とディベロップメンタルケアの実際および小児理学療法への応用と手がかり」

講 師:儀間 裕貴 氏(鳥取大学地域学部附属こどもの発達・学習研究センター)

参加者数:86名(会員29名、他県会員38名、他職種19名、)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:500円、他職種:500円

#### ○心血管理学療法研修会

日 時:平成30年10月10日(水) 19:30～21:00

場 所:佐賀大学医学部附属病院

内 容:急性期リハビリテーションの実際～心臓リハビリテーションの視点から～

講 師:大崎 祐史 氏(佐賀大学医学部附属病院 理学療法士)

参加者数:70名(会員57名、他県会員6名、他職種7名)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:無料、他職種:無料、学生:無料

#### ○神経理学療法研修会

日 時:平成30年9月2日(日) 9:30～16:10

場 所:相知交流文化センターサライ

内 容:「脳画像の診方」講師:光武 翼 氏(白石共立病院)

「脳卒中片麻痺患者の歩行再建の為にバイオメカニクス・装具について」講師:山本 澄子 氏(国際医療福祉大学)

シンポジウム:

症例① 「高次脳機能障害を呈した症例に対し、長下肢装具を用い立位・歩行練習を行った症例」

佐賀大学医学部附属病院 登川 誠也 氏

症例② 「反張膝を呈した症例～ゲイトジャッジシステムを活用して～」

佐賀リハビリテーション病院 藤木 良平 氏

参加者数:95名(会員83名、他県会員10名、他職種1名、学生1名)

受講料;会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:500円、他職種:500円、学生:無料

○地域理学療法研修会

日 時:平成30年8月18日(土)16:00～17:30

8月19日(日)9:00～12:10

場 所:JCHO佐賀中部病院

内 容:急性期・回復期から始まる活動・参加につなげるストレングスリハビリテーション

講 師:吉良 健司 氏(在宅りハビリ研究所所長・株式会社らいさす代表取締役)

参加者数:43名(会員38名、他県会員1名、他職種4名)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:無料、他職種:無料、学生:無料

○徒手療法研修会

日 時:平成30年6月23日(土)14:30～18:00

6月24日(日)9:00～13:00

場 所:医療福祉専門学校緑生館

内 容:運動機能障害評価/治療の新側面 -Anatomy Trains の基本概念とその臨床応用-

講 師:板場 英行 氏(のぞみ整形外科クリニック)

参加者数:63名(会員63名)

受講料:会員:無料、非会員:20,000円、他県会員:1,000円、他職種:1,000円

○リハビリテーション介護技術指導者養成研修会

日 時:平成30年8月26日(日)19:30～21:00

場 所:武雄看護リハビリテーション学校

内 容:「リハビリテーション介護の概念と福祉用具の活用」

「介助者自身の身体の使用方や福祉用具を活用した介護技術等」

講 師:塚原 大和 氏(宇都宮病院)、野方 徳浩 氏(済生会唐津病院)

対 象:佐賀県理学療法士会 会員

参加者数:会員15名

受講料:無料

●各地区症例検討会事業

(事業内容)

中部広域部、鳥栖広域部、伊万里有田広域部、杵藤広域部、唐津東松浦広域部の県下5地区内でリハビリテーション関連や隣接領域の研修会および症例検討会を開催し、その地区に従事するリハビリテーション関連職種の参加機会を確保することで、近隣の病院・施設の多職種による医療・介護連携を効率的に図ることも目的とした。

(対象者)

・リハビリテーション関連職種(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など)、リハビリテーション関連職種養成校学生

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

(中部広域部)

<第1回目>

日 時:平成30年9月12日(水)19:00～

場 所:佐賀県医療センター好生館

内 容:症例検討に関する演題2演題

参加者数:38名(会員38名)

受講費:会員無料、他県理学療法士無料、非会員10,000円、他職種無料、学生無料

<第2回目>

日 時:平成31年3月13日(水)19:00～

場 所:佐賀県医療センター好生館

内 容:症例検討に関する演題2演題

参加者数:51名(会員50名、他職種1名)

受講料:会員無料、他県会員無料、非会員10,000円、他職種無料、学生無料

**(鳥栖広域部)**

<第1回目>

日 時:平成30年9月14日(金)

場 所:今村病院

内 容:症例検討に関する演題1題とグループワーク

参加者数:会員21名

受講料:会員無料、他県会員無料、非会員10,000円、他職種無料、学生無料

<第2回目>

日 時:平成31年3月22日(金)

場 所:今村病院

内 容:症例検討に関する演題1題とグループワーク

参加者数:会員14名

受講料:会員無料、他県会員無料、非会員10,000円、他職種無料、学生無料

**(杵藤広域部)**

<第1回目>

日 時:平成30年7月27日(金)19:00～

場 所:白石共立病院

内 容:症例検討に関する演題2題

参加者数:63名(会員61名、他職種1名、学生1名)

受講料:会員無料、他県会員無料、非会員10,000円、他職種無料、学生無料

<第2回目>

日 時:平成31年3月8日(金)19:00～

場 所:白石共立病院

内 容:症例検討に関する演題4題

参加者数:会員56名

受講料:会員無料、他県会員無料、非会員10,000円、他職種無料、学生無料

**(伊万里有田広域部)**

<第1回目>

日 時:平成30年8月3日(金)19:00～

場 所:伊万里有田共立病院 大会議室

内 容:症例検討に関する演題1題

ミニ研修(若手療法士へのメッセージ～姿勢の重要性について～)

参加者数:会員48名

受講料:会員無料、他県会員無料、非会員10,000円、他職種無料、学生無料

<第2回目>

日 時:平成31年2月8日(金)19:00～

場 所:伊万里有田共立病院 大会議室

内 容:症例検討に関する演題3題

伊万里有田広域部の平成30年度事業報告

参加者数:49名(会員48名、他職種1名)

受講料:会員無料、他県会員無料、非会員10,000円、他職種無料、学生無料

**(唐津東松浦広域部)**

<第1回目>

日 時:平成30年8月21日(火)19:00～

場 所:河畔病院

内 容:症例検討に関する演題1演題

伝達講習2演題

参加者数:39名(会員37名、学生2名)

受講料:会員無料、他県会員無料、非会員10,000円、他職種無料、学生無料

<第2回目>

日 時:平成30年12月11日(火)19:00～

場 所:河畔病院



内 容:症例検討に関する演題4題

参加者数:54名(会員51名、他職種3名)

受講料:会員無料、他県会員無料、非会員10,000円、他職種無料、学生無料

## (2)学会事業

### 【趣旨・目的】

本事業は、科学的根拠に基づく研究の成果を一般に公開し、テーマに対して多面的・多角的に討議を興す機会として位置付けられる。対象は会員のほか非会員の理学療法士や他職種とし、県民公開講座では一般県民も含まれる。発表演題は、学術の専門家による査読を経て採択される。この学術活動をもって上位事業を具体化し、地域社会における高齢者、障害者福祉の増進、県民の保健、医療、福祉の向上に寄与することを目的としている。県民公開講座では、一般県民の健康維持・増進に寄与することを目的にテーマ、講師を選定する。

### 【事業内容】

年に1回、会場および運営にかかわる担当者を県下5地区の輪番制として開催する。一般演題発表、教育講演の他に、県民公開講座など一般県民が無料で参加できる講座によってプログラムされる。一般演題ではそれぞれのセッションに座長をつけ、適切な進行と質疑応答により演題に対して理解が深められるよう促す。

### 【事業例】

#### ●学会事業

(事業内容)

年に1回、会場および運営にかかわる担当者を県下5地区の輪番制として開催する。学会では学会長、準備委員長はじめ事務局、学術局、運営局による組織を構成し学会の企画、広報、運営、事務処理等をそれぞれの担当者が行った。内容としては、県民公開講座、教育講演の講座の他、一般演題発表として口述発表、ポスター発表を行った。

(対象者)

・理学療法士、リハビリテーション関連職種(作業療法士、言語聴覚士など)、リハビリテーション関連職種養成校学生。「県民公開講座」に関しては一般県民

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費および受講費収入

(事業報告)

○第27回佐賀県理学療法士会学会

日 時:平成31年2月17日(日)

場 所:唐津市文化体育館

内 容:一般演題:22演題

県民公開講座『高齢者の笑顔・感情を引き出すためのシナプソロジー』 郷間 加奈子 氏(MKMハートフル)

教育講演『リハビリテーション栄養と医原性サルコペニア』

若林 秀隆 氏(横浜市立大学附属市民総合医療センター)

参加者数:学会参加者:237名(会員226名、他県会員9名、他職種1名、学生1名)

受講料:会員:1,000円、非会員:10,000円、他県会員:2,000円、他職種:2,000円、学生:無料

## (3)学術・研究普及事業

### 【趣旨・目的】

理学療法の臨床活動において、臨床的な判断を“経験則”だけに基づいて行うのではなく、基本的な理論や質の高い臨床研究による検証結果であるエビデンス(evidence)に基づき行うことによって、安全で効果的な理学療法が実践可能となる。その専門性の検証のためにも「研究活動」は欠かせないものであり、佐賀県内の理学療法士による研究論文、症例検討ならびに有識者からのトピックス等を学術誌に掲載することにより、佐賀県内の理学療法士間で情報の共有を図り、これらを対象者に還元するとともに、佐賀県内の理学療法士の知識及び技術向上に繋げることを目的とする。

### 【事業内容】

県内の理学療法士による研究論文、症例検討、有識者によるトピックス等を掲載する学術誌の発行を行う。なお、学術誌の発行に当たっては、投稿規程に則って行い、学術誌委員会を設置した上で査読者による査読審査を経て掲載する。投稿者は本会会員および佐賀県下の理学療法士養成校における卒業研究論文で推薦できるものとする。

### 【事業例】

#### ●学術誌発行事業

(事業内容)

学術誌委員会を概ね2ヶ月に1回開催し、論文原稿の公募、査読者との連絡・調整、投稿原稿の取りまとめ、発行調整等を行った。掲載内容は、一般投稿論文、佐賀県理学療法士会学会優秀演題論文、短編論文等である。発行部数は1,300

部とし、佐賀県内会員所属全施設及び公益社団法人日本理学療法士協会など、約310施設へ発送するほか、筆頭著者には別刷りを30部無料進呈した。

(対象者)

・佐賀県理学療法士会会員ならびに投稿者

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

・学術誌「理学療法さが」の発行

ISSN 2188-9325

Vol.5.No.1 2019(平成31年2月発行)

・原著論文5題、短報1題

・印刷部数:1300部

・送付先:佐賀県理学療法士会会員、日本理学療法士協会、その他関係機関

### 3. 理学療法士の教育機関に協力し、理学療法士の資質の向上に寄与する事業

#### 【趣旨・目的】

本事業は、これから理学療法士を目指す者が、将来にわたって理学療法士としてふさわしい適性を身につけることができるように支援する事業である。理学療法士は、何らかの原因により心身の機能や日常生活動作能力に障害をもつ者を対象とするため、単に技術論のみで対処するのではなく、心理面や社会面にも配慮した対応ができる資質を身につける必要がある。したがって、理学療法士を養成する教育機関と本会が連携し、学生が臨床実習先で必要な知識を習得し、理学療法に関する適切な判断が行える素地をつけることができるための支援を目的とした事業である。本事業は理学療法士を目指す人材の育成にかかわるものであり、またその育成のあり方が将来にわたって医療・福祉の質に直接反映されることから、本会にとって重要な事業と位置付けている。

#### 【事業内容】

養成校から臨床実習者を受け入れる理学療法士に対し、臨床現場での教育の質を担保する事業や、卒前教育として基本的な臨床技能を客観的に評価する方法として導入されているOSCE(Objective Structured Clinical Examination)へ協力する事業等を展開する。研修会の内容は講座のみならず、チーム編成によるワークショップを実施し、問題解決に向けた取り組み方等をグループ討議していき、情報の共有化に努める。

#### 【事業例】

##### ●臨床実習指導者研修事業

(事業内容)

臨床実習の位置付け、指導者側である臨床の理学療法士の役割、学生理解、教育目標から教育評価、問題解決方法と臨床指導方法など広範にわたり、臨床理学療法士が適切に安心して学生指導に従事できるよう支援する内容で実施した。

(対象者)

・理学療法士、リハビリテーション関連職種(作業療法士、言語聴覚士など)

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費および受講費収入

(事業報告)

##### ○臨床実習指導者研修会

日 時:平成30年11月4日(日)10:00~15:00

場 所:西九州大学

内 容:「生涯学習に臨床研修が必須化!~CCSから一貫した臨床教育を~」

講 師:中川 法一 氏(医療法人増原クリニック 副院長)

参加者数:会員23名

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:500円、他職種:500円

##### ●養成校との情報交換会

日 時:平成31年1月24日(木)

場 所:佐賀県理学療法士会事務所

内 容:平成30年度九州ブロック臨床実習関係担当者会議の報告

中央講習会実施計画の経緯について

都道府県講習会実施計画について

参加者数:16名(佐賀県理学療法士会11名、緑生館1名、西九州大学2名、武雄看護リハ2名)

#### 4. 関連団体との連携および協力に関する事業

##### 【趣旨・目的】

超高齢化社会を迎え、高齢者が尊厳を保ちながら、住み慣れた地域で自立した生活をおくることができるよう、地域包括ケアシステムの構築が急がれている。そのためには医療や介護に携わる多職種間の連携が必要不可欠である。リハビリテーション関連団体との共同企画による医療・保健・福祉の発展に寄与する研修会、人材育成等の事業を通して、地域社会における高齢者、障害者福祉の増進、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与することを目的とする。学術技能向上の事業と類するが、リハビリテーション関連職種との共同事業という視点から一つにまとめた。

##### 【事業内容】

地域や職場で医療や介護に従事する多職種向けに研修会を開催する。研修内容は、地域包括ケアシステムの構築を見据え、多職種の人材育成に寄与できるようなものとし、リハビリテーション医学や介護予防、訪問リハビリテーションなどの講座に加え、実技指導やグループワークにより、より効果的で実践的な介入が可能となるような内容とする。

##### 【事業例】

##### ●リハビリテーション介護技術研修事業

(事業内容)

地域や職場で介護に関わる業務に従事されている専門職の方々を対象にリハビリテーション医学概論をはじめ、介護技術に関する講習会や実技指導等を行い、技術の普及と人材の育成を行った。研修内容としては、リハビリテーション医学概論、介護予防概論、福祉機器の選び方などの講座と、トランスファーテクニック(移乗動作技術)について、その理論と実技指導を行った。障害により日常生活に支障をきたした方が、安全で安楽なポジショニングや基本動作能の遂行ができるように、介護にかかわる専門職に対し、リハビリテーションの専門的知識や技術をもって支援していくことを目的とした。

(対象者)

・医療・保健・福祉に従事している専門職(介護職、作業療法士、看護師、福祉用具相談員、理学療法士など)

(財源)

・正会員受取会費および受講費収入

(事業報告)

##### ○第1回研修会

日 時:平成30年10月21日(日)9:00～16:00

場 所:伊万里看護学校

内 容:「リハビリテーション介護概論と福祉用具の活用について(講義)」

「介助者の身体の使い方と対象者の身体のサポート(実技)」

「寝返り・起き上がり動作のサポートと福祉用具活用(実技)」

「ベッド上移動・移乗動作のサポートと福祉用具活用(実技)」

「寝姿勢・座位姿勢の整え方・ポジショニング(実技)」

講 師:塚原 大和 氏(宇都宮病院)、他会員

参加者数:15名(介護職:7名、作業療法士2名、看護師:1名、福祉用具専門相談員:2名、会員3名)

受講料:無料

##### ○第2回研修会

日 程:平成30年11月18日(日)9:00～16:00

場 所:武雄看護リハビリテーション学校

内 容:「リハビリテーション介護概論と福祉用具の活用について(講義)」

「介助者の身体の使い方と対象者の身体のサポート(実技)」

「寝返り・起き上がり動作のサポートと福祉用具活用(実技)」

「ベッド上移動・移乗動作のサポートと福祉用具活用(実技)」

「寝姿勢・座位姿勢の整え方・ポジショニング(実技)」

講 師:塚原 大和 氏(宇都宮病院)、野方 徳浩 氏(済生会唐津病院)、他会員

参加者数:38名(介護職21名、看護学生:6名、福祉用具専門相談員1名、作業療法士2名、看護師1名、会員7名)

受講料:無料

##### ●訪問リハビリテーション研修事業

(事業内容)

訪問リハビリテーションに従事する、または地域リハビリテーションに興味のある理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、その他関連職種を対象に実施する。障害をもつ人々や高齢者が、住み慣れたところで安全に生き生きとした生活が送れるように、生活機能の維持・向上を目的とした維持(生活)期リハビリテーションの支援体制整備は今後ますます重要となる。在宅療養を支援するためには、地域医療・福祉施設と行政も含めた連携と機能分担によるネットワークづくりが必要であり、そ

の中心を担うリハビリテーション専門職の人材育成を目的とした研修事業である。内容は、訪問リハビリテーションに関わる基本的概念、リスク管理を含めた実務研修、グループワークを中心に実施した。

(対象者)

・医療・介護に従事している専門職(看護師、介護福祉士、ヘルパー、作業療法士、言語聴覚士など)

(共催)

・佐賀県作業療法士会、佐賀県言語聴覚士会

(共催における本法人の役割)

佐賀県作業療法士会、佐賀県言語聴覚士会と協力し、研修会の企画、広報から研修当日の運営まで共同で行った。本会は別に専門領域部会において訪問リハビリテーション勉強会を定期的で開催しており、その実績を生かし、イニシアティブを取って企画から準備委員会の開催、研修会当日の運営を担っている。また講師謝礼等、研修会に係る費用は会員数により経費分担した。

(財源)

・正会員受取会費および受講費収入

(事業報告)

○佐賀県訪問リハ・介護支援専門員合同研修会

日 時:平成31年1月13日(日)、2月9日(土)、2月23日(土)

【共通研修会(1月13日分)】場 所:西九州大学健康支援センター

「講演①:在宅におけるリスク管理～訪問看護の視点から～」

講 師: NPO 法人 訪問看護ステーション陽だまり 管理者 片桐 都茂子氏

「講演②:在宅医療に寄り添う歯科医療～予防と悪化防止のポイント～」

講 師: 佐賀県歯科医師会理事 地域福祉部 陣内歯科医院 陣内 重雄氏

「講演③:自立と尊厳を地域へつなぐ～リハビリテーションマインドを地域へ～」

講 師: 介護老人保健施設 うぐいすの丘 副施設長 理学療法士 柿田 京子氏

【唐津地区研修会(2月9日分)】場 所:唐津市高齢者ふれあい会館りふれ

「グループワーク」事例検討

「講演①:在宅での連携、口腔センターについて」

講 師: 歯科医師 田代 剛氏、歯科衛生士 古藤 美貴子氏

「講演②:在宅医療における訪問リハビリ(医師の立場から)」

講 師: 唐津・東松浦医師会会長 渡邊 尚氏

【中部地区研修会(2月23日分)】場 所:佐賀県駅北館

「講演①:地域共生社会の実現に向けて～社会福祉協議会と様々な社会資源～」

講 師: 佐賀市社会福祉協議会 福祉課長 池田 敦子氏

「講演②:佐賀中部広域管内における地域ケア会議の現状と今後の展望」

講 師: 佐賀中部広域連合 給付課包括支援係 橋本 小百合氏

「グループワーク」事例検討

参加者数:169名(3日間延べ)

(会員:52名、作業療法士:32名、言語聴覚士:14名、介護支援専門員:64名、その他:7名)

受講料:3団体会員・関連職種:無料

## ●診療報酬・介護報酬研修事業

(事業内容)

医療・県下の医療機関、介護保険関連施設、教育機関等に従事している会員ならびに関係職種に向け、医療保険制度、介護保険制度を正しく理解できるよう、研修会ならびに情報交換会を開催する。

(対象者)

・リハビリテーション関連職種(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など)

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

○診療報酬・介護報酬改定に関する情報交換会

日 時:平成30年7月9日(月) 19:00～20:30

場 所:佐賀県医療センター好生館 2F 多目的ホール

内 容:「診療報酬・介護報酬改定の概要説明ならびにグループワーク

参加者数:58名(会員54名、作業療法士4名)

受講費:会員:無料、非会員:10,000円、県外会員:無料、他職種:無料、学生:無料

### ●地区別研修会事業

(事業内容)

・地域包括ケアシステムの構築推進にあたり、各地区の特性に応じた対応ができるように、理学療法士はじめリハビリテーション関連職種の資質向上を図り、地域住民への健康増進、介護予防に資する人材育成のための研修会を開催した。

(対象者)

佐賀県理学療法士会会員、リハビリテーション関連職種

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

#### ○中部広域部研修会

日 時:平成30年5月18日(金)19:00~20:30

場 所:アバンセ

内 容:「地域包括ケアシステムの現状と課題」 講 師: 平方 啓義 氏(おたっしや本舗大和)  
「地域包括ケアシステムと住民主体型リハ事業の普及啓発活動について」

講 師: 坂井 沙織 氏(佐賀リハビリテーション病院)

参加人数:55名(会員48名、作業療法士3名、言語聴覚士3名、学生1名)

#### ○杵藤広域部研修会①

日 時:平成30年4月19日(木)19:30~21:00

場 所:白石共立病院

内 容:「地域ケア会議事前研修会」

講 師:北島 保子 氏(医療福祉専門学校緑生館)

参加人数:42名(会員39名、作業療法士2名、学生1名)

#### ○杵藤広域部研修会②

日 時:平成31年3月14日(木)18:30~21:00

場 所:白石共立病院

内 容:「他職種交流会:グループワーク~事例検討~」

参加人数:19名(会員14名、介護支援専門員4名、その他1名)

受講費:会員:無料、非会員:10,000円、県外会員:無料、他職種:無料、学生:無料

### ●職域別管理者研修会

日 時:平成31年1月26日(土)

場 所:佐賀県医療センター好生館

内 容:◇急性期領域 唐津赤十字病院 麻生 昭秀 氏

◇回復期領域 佐賀リハビリテーション病院 坂井 沙織 氏

◇地域包括ケア領域 白石共立病院 初木 丈史 氏

◇生活期領域 西田病院 梅崎 政博 氏

◇ワークショップ

参加者数:会員30名

受講料:佐賀県理学療法士会会員 無料 他県士会・他団体 無料 非会員 10,000円

## 5. 体験活動等による理学療法の知識の普及・啓発事業

【趣旨・目的】

県民に対する理学療法啓発活動により、理学療法業務の理解を深め、理学療法士に対する認識を向上させることを目的とする。さらに介護予防、ロコモティブシンドローム予防など、県民の疾病予防、健康増進のための体験活動等を通じ、県民のリハビリテーションについての知識向上を図り、県下の保健・医療・福祉の質的向上を目指すものである。

【事業内容】

イベント会場や理学療法士が勤務する職場において、理学療法の業務内容や介護予防等に関するパネル展示による啓発活動や理学療法に関する体験活動、相談事業を通じて、理学療法士とその活動について多くの県民に知っていただく。

【事業例】

### ●理学療法週間イベント事業

(事業内容)

理学療法や介護予防等に関するパネル展示による啓発活動や、体組成計での計測、運動機能評価などを体験してもらう。

体験された方へ評価結果などをフィードバックすることにより、県民の生活習慣病や介護を要する状態とならないための予防、積極的な健康づくり運動への意識高揚を目指すこととした。

(対象者)

・一般県民

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

○中部広域地区理学療法週間介護予防・健康増進キャンペーン

開催日:平成30年7月15日(日) 10:00~16:00

場 所:イオンモール佐賀大和店

対 象:一般県民

内 容:①体力測定:立ち上がりテスト、2ステップテスト ②体組成検査 ③測定結果からフィードバック  
④健康やリハビリに関する相談コーナー

参加者数:会員20名

キャンペーン参加者数:93名

○杵藤広域地区理学療法週間介護予防・健康増進キャンペーン

開催日:平成30年7月15日(日) 9:00~16:00

場 所:武雄市図書館

対 象:一般県民

内 容:①体力測定:立ち上がりテスト、2ステップテスト ②ミニ講和「自分の体を再発見!ロコモティブシンドロームとは」

参加者数:会員19名

キャンペーン参加者数:149名

### ●地区別イベント参加事業

○唐津東松浦広域地区理学療法週間介護予防・健康増進キャンペーン

開催日:平成30年9月23日(日) 11:00~15:00

場 所:まいづるスリーナイン

対 象:一般県民

内 容:①ロコモ度チェック:立ち上がりテスト、2ステップテスト  
②シナプソロジー(認知機能向上トレーニング)の紹介・実演・体験

参加者数:会員17名

キャンペーン参加者数:47名

○鳥栖広域地区理学療法週間介護予防・健康増進キャンペーン

開催日:平成30年9月23日(日) 9:30~16:00

場 所:フレスポ鳥栖

対 象:一般県民

内 容:①理学療法や介護転倒予防等に関する啓発活動(スライド上映)  
②体組成測定  
③運動機能評価:立ち上がりテスト、2ステップテスト、70歳以上TUGテスト  
④評価結果のフィードバック

参加者数:会員16名

キャンペーン参加者数:74名

○伊万里有田広域地区理学療法週間介護予防・健康増進キャンペーン

開催日:平成30年10月14日(日) 10:00~14:50

場 所:有田町~伊万里市

対 象:一般県民

内 容:有田町役場から伊万里駅まで電動車いすで移動し、一般県民へのアンケート調査やキャンペーングッズの配布などを行い、啓蒙活動を行う。

参加者数:会員14名

○白石町べったんこ祭介護予防健康増進キャンペーン

開催日:平成30年11月18日(日)

場 所:ふれあい郷(白石町有明)

対 象:地域在住住民・祭り参加者

内 容:健康増進・体力測定:①握力、②TUG、③片脚立位(開眼)、④CS30

参加者数:会員9名

キャンペーン参加者数:84名

○第13回白石町社会福祉大会

開催日:平成30年12月22日(土)

場 所:白石町総合センター

対 象:地域在住住民

内 容:記念講演「自分の健康を自分で守ろう!～白石町腱溝体操のすすめ～」

講 師:川田 浩司 氏(白石共立病院)

参加者数:会員9名

大会参加者数:約300名

○鳥栖地区介護の日フェスタ

開催日:平成30年10月25日(木) 12:30～16:30

場 所:サンメッセ鳥栖

対 象:イベント参加者(一般県民)

内 容:運動テスト体験(①TUG、②片脚立位)および転倒予防相談

参加者数:会員4名

イベント参加者数:20名

○健康運転安全講座

<第1回目>

日 時:平成30年4月20日(金)13:00～

場 所:ダイハツ販売兵庫店

内 容:体力測定、転倒予防運動指導、認知機能向上のための運動指導

参加者数:会員7名

イベント参加者数:22名

<第2回目>

日 時:平成30年10月19日(金)13:00～

場 所:ダイハツ販売兵庫店

内 容:体力測定、転倒予防運動指導、認知機能向上のための運動指導

参加者数:会員10名

イベント参加者数:18名

●職場体験事業

(事業内容)

理学療法に関する普及活動によって県民の健康増進ならびに障害や疾病予防に貢献できる次世代の理学療法士の育成に寄与することを目的とした。具体的には、県内の高等学校(公立・私立)へ案内文やパンフレットを送付し、希望する高校生を対象に県内の医療・福祉施設に協力を得て職場体験を実施し、リハビリテーションおよび理学療法の啓発活動を行った。

(対象者)

・県内の高校生

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

内 容:理学療法週間(7/10～7/18)にあわせ、県内公立・私立高等学校へ案内文及びパンフレットを送付。

併せて理学療法士の勤務する医療・福祉施設への職場体験協力施設を募集。応募した高校生が希望する協力病院・施設と日程調整実施。一日理学療法士の職場を見学、体験しリハビリテーションの啓発を行った。

期 間:平成29年7月1日～8月31日

対 象:佐賀県下の高校生

場 所:事業への協力施設

体験受入施設数:16施設

体験実施施設数:10施設

体験実施高校数:9校

体験者数:32名

【その他の事業(相互扶助事業等)の部】

## 《その他の事業 1.》

### ●会員の福利厚生に関する事業

#### 1. 会員の交流援助

(事業内容)

当年度新規入会者をはじめとする新人会員と、既会員並びに他職種との交流を目的とした交流会を開催した。県内の理学療法士が勤務する施設へ案内を送付した。

(対象者)

当年度新規入会者および既会員

(事業報告)

##### ○第1回スポーツ交流会

日 時:平成30年7月15日(日)

場 所:ボウルアーガス(佐賀市)

内 容:ボーリング大会

参加者数:会員10名

##### ○第2回スポーツ交流会

日 時:平成30年12月9日(日)

場 所:武雄白岩体育館

内 容:フットサル大会

参加者数:44名(会員41名、他側腫3名)

#### 2. 機関誌「広報はがくれ」の発刊

(事業内容)

各種研修会等の事業実施報告や事業計画、事務局通信、理事会等の議事録、職場紹介などが主な内容となり、年に4回の発行し、各会員および関連諸機関へ発送した。

(事業報告)

発行:年度内4回発行(No.114~117)

部数:各会員向けの1,300部

内容:各種研修会の事業報告、研修会案内、会員へのお知らせ、理事会議事録、職場紹介など

#### 3. 理学療法およびリハビリテーションに関する調査研究事業

(事業内容)

理学療法ならびに理学療法士が関係する医療保険分野や介護保険分野の領域を中心に、リハビリテーション関連職種の就業実態、リハビリテーションおよび理学療法の業務内容、リハビリテーションに関わる疾病構造やその種類、労働環境や労働条件、診療報酬や介護報酬に関する算定実績等の調査を実施する。調査された結果をもとにリハビリテーションを県民に提供するための問題点やあり方について検討した。

(対象者)

リハビリテーション関連職種(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など)およびその所属する施設

(調査方法)

平成30年度の採用状況に関して会員の勤務する施設および養成校に対しウェブでアンケート調査を実施  
アンケートの内容は①施設名、②施設区分、③開設者、④採用状況について実施した。

(公表方法)

調査結果を取りまとめたうえで、機関誌「広報はがくれ」への掲載や研修会において会員等へ公開した。

(事業報告)

・回収率:186施設のうち95施設から回答あり。(回収率51.1%)

・集計結果報告は平成30年度第4号「機関誌広報はがくれ117号」にて掲載した。

### 【管理業務の部】

#### 《事務局・事務部》

(1) 包括的会員管理システムへの対応および援助

(2) 会員入会・異動・休会・復会・退会届の承認および協会・他県士会との連携

(3) 会員名簿管理

(4) 公益社団法人に関する事務手続きおよび佐賀県法務課との連携

(5) 総会、理事会など諸会議の準備・運営

(6) 他関係団体との連携・調整

(7) 他都道府県士会及び関連諸団体のニュース・機関誌等の保管



- (8) 定款・定款細則および諸規程の運用
- (9) 公文書・報告書などの発送・受領及び議事録などの保管・管理
- (10) 公印の管理
- (11) 弔・祝電など慶弔行為の実施
- (12) 公益社団法人日本理学療法士協会事務局及び九州ブロック会等の連携
- (13) 物品管理 他

#### 《事務局・財務部》

- (1) 会費納入状況の管理
- (2) 通帳管理、予算執行、複式簿記管理、税理士と連携し決算諸表作成
- (3) 出金・入金伝票および命令簿等の管理
- (4) 必要経費支払い、各部局事業への費用調達、講師礼金等の納税 他

#### 《事務局・福利厚生部》

- (1) 会員相互、他団体との親睦に関する事
- (2) 本会事業執行に係る保険制度の整備 他

#### 《事務局・広報部》

- (1) 本会機関誌「はがくれ」、広報誌「ねつつ」の企画・編集・作成及び発刊・保管
- (2) 会員へのメール配信、FAX 通信の管理・運営
- (3) 本会ホームページの管理・更新
- (4) 広報活動に必要な内外情報の収集 他

#### 《会長関連会議出席、その他》

- 【全国】公益社団法人日本理学療法士協会代議員総会  
公益社団法人日本理学療法士協会組織運営協議会  
一般社団法人リハビリテーション教育評価機構会議 他
- 【九州】九州ブロック会士会長会議  
九州理学療法士・作業療法士合同士会長会議 他
- 【県内】関係団体総会、会議出席

#### 《士会推薦》

- 地域ケア会議
- 地域包括支援センター運営委員会
- 佐賀中部広域連合介護保険運営協議会
- 介護予防事業
- 認定審査会
- 介護職員資質向上研修会
- 在宅医療介護連携推進委員会

#### 《学術関連業務、会議出席他》

- 【公益社団法人日本理学療法士協会との連携】
  - ・『包括的会員管理システム』への対応:生涯学習履修ポイント管理
  - ・本会主催研修会情報の登録
  - ・研修会参加者名簿の送付 他
  - ・指定管理者(職域別)中央研修会(急性期・生活期)
- 【九州】九州ブロック会学術担当者会議  
九州ブロック会臨床実習関係者会議

#### 《委員会活動について》

##### 《表彰委員会》

- (1) 協会賞等候補者の選考
- (2) 各種表彰の準備と挙行 他

##### 《倫理委員会》

- (1) 倫理規定の策定、啓発活動 他

##### 《法規検討委員会》

- (1) 定款、定款細則等の各規約の検討他:会議2回
- (2) 佐賀県法務私学課法人監査の準備・対応

《選挙管理委員会》

(1) 役員選挙の管理・運営 他

《政策検討委員会》

(1) 政策の提言

(2) 他団体との政策調整推進 他

公益社団法人佐賀県理学療法士会 事業体系 (2019 年度)

◇公益目的事業について

【公益事業 1.】理学療法士の職業倫理の高揚を図るとともに、理学療法の学術及び技能の向上を推進し、もって県民の医療・保健・福祉の増進に寄与する事業

事業名	事業例
<p>1. 理学療法を通じて、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するための事業</p>	<p>(1) スポーツサポート事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般スポーツサポート事業</li> <li>・障がいスポーツサポート事業</li> </ul> <p>(2) 医療・介護保険制度の正しい理解・普及事業</p> <p>(3) 理学療法の普及事業</p>
<p>2. 理学療法士の職業倫理高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業</p>	<p>(1) 理学療法士の学術技能向上事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌「ねっつ」発行事業</li> <li>・新人教育プログラム事業</li> <li>・専門領域研修事業</li> <li>・各地区症例検討会事業</li> </ul> <p>(2) 学会事業</p> <p>(3) 学術誌発行事業</p>
<p>3. 理学療法士の教育機関に協力し、理学療法士の資質の向上に寄与する事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床実習指導者研修事業</li> <li>・養成校との情報交換会</li> </ul>
<p>4. 関連団体との連携および協力に関する事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリテーション介護技術研修事業</li> <li>・訪問リハビリテーション研修事業</li> <li>・診療報酬・介護報酬研修事業</li> <li>・地区別研修会事業</li> <li>・職域別研修会事業</li> </ul>
<p>5. 体験活動等による理学療法の知識の普及・啓発事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理学療法週間イベント事業</li> <li>・地区イベント参加事業</li> <li>・職場体験事業</li> </ul>